

専門家による実践報告 『国際協力への参画』

日時場所：1月16日(金) 13:00-15:00

時 間	場 所
13:00-15:00	5101 教室

「日本の若者たちの挑戦－ハンセン病をめぐって」

早稲田大学平山郁夫ボランティア・センター 西尾雄志氏

一般的にボランティアには、モノやサービスを提供するボランティアと、アドボカシー活動などを通じて、行政を変革させていくボランティアの2つがあるといわれます。この報告では、中国ハンセン病回復村での日中韓の学生による活動を通して、ボランティアの隠れた機能について報告します。その報告を通して、大学の社会貢献のあり方に関して考えてていきます。

「カンボジア Wat Norea "Peaceful Children's Home" 観察レポート」

近畿日本ツーリスト CSアドバイザー 岩田亮子氏

敬虔な仏教国カンボジアでは、AIDSに対する激しい偏見と差別があります。その中で、ひとりの僧侶が AIDS 孤児達のために設けた施設が、バッタンバン州のパゴダ Wat Norea 内にあり、"Peaceful Children's Home" と呼ばれています。現在 65 人の孤児達を支える支援団体のひとつに日本の大学生たちによるものもありました。彼らは英語を武器に孤児達が自立することを目的とした英語教育事業をしています。ひとつの支援のあり方を提示していると思います。他の活動事例も紹介しながら、本当に必要な支援とは何かを考察します。